

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンスマイル ビレッジ菜園's教室		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外の広場、室内、ハウス等児童の活動スペースがあること。	その日の利用児童に合わせた活動(場所、内容)ができる。	他教室は室内遊びが特化している為、ビレッジの室内遊びのバリエーションを増やす。
2	集団で遊ぶ(ドッチボール、協力してアスレチック作り等)、個人で遊ぶ(自転車等)の種類があり、児童が自分の気分に合わせて過ごせること。	学年関係なく、リーダーシップをとれるよう支援している。自由時間で好きな遊びをして、活動の時間で集団で過ごすというルーティンを作っている。	個別支援の質を向上させ支援の統一を図る。
3	イベント(クレージング、マグロ解体ショー、夏祭り、文化祭、発表会等)を開催しており、親子参加が出来る機会を設けている。	非日常体験を提供し、保護者様に普段のお子様の様子や頑張ったことの発表を見てもらう。お子様の自己肯定感の向上を意図しています。さらに、お子様の特技を認知してその後の人間関係を形成する。	保護者様同士の情報交流できる支援の機会を増やす。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内に、クールダウン専用のスペースがない。(キッチンの際に、マットと仕切りで簡易スペースを設置している。)	部屋の数が少ない。	完全別室は難しいがパーテーション、必要に応じて外で身体を動かして発散する。児童に合わせたクールダウンを支援する。
2	個別サポート児童が多い。	個別サポート児童の最近の様子を踏まえて、過ごす場所の配慮が必要。	保護者様の意向を踏まえた、個別サポート児童に丁寧な支援と、複数人で遊べるような支援をする。
3			